

## 「校長室の窓から」

令和8年(2026)5月7日(木)  
第9号 発行：隈元 優一

慌ただしい4月を終え、気づけば1カ月が過ぎました。新しい環境での緊張もあったと思いますが、今年のGWは良い気分転換になったでしょうか。

### 🔗 5月2日(土)第7回たかっこフェスタ ボランティア参加報告

5月2日(土)、多可町生涯学習まちづくりプラザ「あすみる」にて開催された『第7回たかっこフェスタ』に、本校生4名と教員2名がボランティアとして参加しました。

本イベントは、0歳から18歳までの子どもと保護者を対象に、21の協力団体が多様な体験ブースを展開する地域の恒例行事で、天候にも恵まれ会場は終日、明るい笑顔と活気に包まれていました。本校は「おたのしみコーナー・世界の遊び場」を担当し、生徒たちはスポーツスタッキングとクレレンゲーム(シンガポールの遊び)の遊び方を、担当者Aさんの英語を交えた説明をしっかりと理解したうえで、訪れた子どもたちに丁寧に伝えていました。初めて出会う小さな子どもたちに寄り添い、相手のペースに合わせて声をかけながら遊びをサポートする姿は大変頼もしく、地域の方々から温かい言葉をいただく場面もありました。

また、このコーナーの主担当者であるAさんは、かつて多可町の中学校でALTとして勤務されていた方であり、本校生Tさんは中学校時代にAさんの授業を受けていたとのことでした。思いがけない再会に双方が笑顔で言葉を交わす姿は、教育活動がつなぐご縁の広がりを感じさせるものでした。イベント終了後には、迎えに来られた保護者の方々同士が自然に交流される様子も見られ、地域のつながりが確かに育まれていることを実感しました。



▲ たかっこフェスタの1コマ

今回のボランティア活動を通して、生徒たちは地域の一員として役割を果たす喜びを感じるとともに、他者と関わる中で多くの学びを得ることができました。

### 〈コラム〉自販機のパンについて

本校には食堂がありませんが、ホットスペース前には市内のパン屋さんが毎週届けてくださるパンの自動販売機があります。大手メーカーの製品ではなく、地域の店舗が心を込めて用意してくださっているもので、生徒にも教職員にも親しまれています。



▲ 自販機のパン屋さん

先日、そのパン屋さんに立ち寄る機会がありました。店内には焼きたての香ばしい匂いが広がり、イートインスペースも整っていて、思わずゆっくりしたくなる雰囲気でした。牛スジ入りカレーパンなど、魅力的な商品が並んでおり、いくつか購入して味わいましたが、とても丁寧に作られていることが伝わってきました。学校の自販機で販売されているパンも、こうした地域の温かさが詰まったものです。今度は学校でも改めて味わってみようと思いました。